

# くすわかば



令和5年度学校だより 第26号

令和6年1月26日発行

熊本市立中緑小学校

校長 林田 匡

## 給食記念週間

1月24日から30日までは全国学校給食記念週間です。それに合わせて本校でも給食記念週間の取り組みを行いました。19日（金）の朝の時間には、奥古閑小学校の学校栄養教諭の潟口先生に来ていただき、給食の歴史や献立の変遷、実際に調理に関わっていただいている銭塘小学校の先生方の紹介もしていただきました。昨年度から潟口先生にはこの時期に講話に来ていただいておりますが、実際に給食に関わられている先生のお話で、子どもたちは給食のことについてしっかり考える機会になったようでした。ちなみに、潟口先生のお話の中で出てきた給食の献立の変遷について、左下の写真は、明治22年の献立（おにぎり、塩鮭、菜の漬物）、右下の写真は、昭和初期のもの（コッペパン、鯨の竜田揚げ、脱脂粉乳）です。〈農林水産省 HP <https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/2006/food01.html> より〉



25日（木）の献立は、給食記念週間にちなんで、「めざし、たくあん、のそくせきづけ、こんさいのみそしる、牛乳」でした。子どもたちは、日頃からお世話になっている銭塘小学校の給食の先生方、潟口先生、そして本校の給食受け入れ業務を行って

いただいている吉村先生に手紙を書いて感謝の気持ちを伝える活動を行っていきます。

給食記念週間に関連して、24日（水）の児童集会では、給食・放送委員会の子どもたちが「食べ物の好き嫌いをなくそう」というテーマで食材に関する様々な効用等を調べ、クイズにして発表してくれました。「食」に関して考えるよい機会となったようでした。

## ふれあい活動、ふれあい給食

23日（火）の4時間目に、1・2年生が生活科の学習の一環としてふれあい活動（昔遊び体験）を行いました。当日は、とても寒い日でしたが、1・2年生のおじいちゃん、おばあちゃんをはじめ老人クラブの方々など12名の地域の方々にご協力をいただき、お手玉やおはじき、けんだま、あやとり、竹とんぼ等の昔遊びを教えてもらいながら楽しむことができました。悪天候のため、コマ回しができなかったのが残念でしたが、体育館で老人クラブ会長の井村さんからこっそりコマ回しの技を見せていただき、子どもたちはとても喜んでいました。その後、ふれ



あい給食として、それぞれの学年の教室に分かれて会食を行いました。ちなみにこの日の給食の献立は、ごはん、麻婆豆腐、もやしのナムル、ごはんの友（ふりかけ）、牛乳でした。新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、交流活動も復活しています。子どもたちにとってはよい学びの場になる地域の方々との様々な交流を今後も続けていきたいと思っております。今後ともご協力のほど、よろしく願いいたします。また、ご参加いただきました地域の皆様、寒い中ご来校いただきありがとうございました。